

市大を志望する皆さんへ ～在学生からのメッセージ～

在学生から受験生の皆さんへ、自らの体験や心構えなどを交えた熱いメッセージが届きました。がんばれ、受験生！

大学生になった自分を 思い描いて

国際学部国際学科1年 籾内 小夏



皆さんは、どんな大学生生活を送ろうと思っていますか？
大学でしたいことを自分なりに固めて、モチベーションを上げることは、受験を乗り越えるために大切になってきます。
私が市立大学に決めた一番の理由は、分野を超えて自分の興味のあることを探求できるということなんです。多文化共生や、政治の面でも国際関係について学びたいと思っていたので、強く惹かれました。また、留学や海外研修も充実しているということにも魅力を感じていました。
実際に入学して数か月、思い描いていた通りの充実した毎日を送っています。バラエティ豊かな講義で知識を深め、少人数クラスでは積極的に意見交換を行うことで自分の視野が大きく広がった気がします。さらに市立大学には目標を持って活動している学生が多いです。お互いに意識を高めあい、目標に向かって頑張ることができています。
これからの受験生活で辛いと感じたとき、大学生になった自分を思い描いて、頑張ってください。応援しています。

勉強する場所と時間を 固定する

情報学部1年 中野 美登里



私は勉強する場所と勉強開始時間を固定していました。
勉強する場所を固定するとは、家なら自分の机、学校なら自習室というように、勉強する場所を決めておくということです。そうすれば、机に座ると勉強するモードに頭を切り替えることができます。勉強する場所を固定しないと、なかなか頭が勉強するモードに入ってくれず、勉強効率が落ちてしまいます。
勉強開始時間を固定するとは、1日の予定を事前に立てておいて、教科などは臨機応変に変えますが、勉強を開始する時間は毎日同じ時間に設定しておくということです。そうすることで時間が来たら勉強しないといけない、と頭で認識できます。勉強開始時間を固定しないと、勉強と休憩の切り替えが難しく、いつまでもだらだらと時間を過ごしてしまいます。
限られた時間を大切に使うために、この2つのことは重要になってきます。
最後に、皆さんと来年の春に市大でお会いできることを楽しみにしています。最後まであきらめずに頑張ってください。

今経験している全てが、 力になる

芸術学部美術学科1年 中須賀 愛美



実技試験のデッサン課題についてお話したいと思います。まず、描こうとするものについてよく知ってください。作品に大切なのは、そこに本質があることだと思います。次に、鑑賞者の目を意識して描いてください。自分の気になった所ばかり手を加えていると、バランスを崩し、見づらい画面になってしまいます。客観的になり、何が変なのか自分で気付けるようになることが大切です。
「絵は点数化できない」と言いますが、入試では点数をつけるものです。つまり、基準がまるで無いわけではないということです。基礎ができているかどうか鍵になると思います。これは、自分の努力次第で身に付くものです。うまくいかない日も必ずあると思います。自棄にならずひとつひとつの問題を丁寧に解決していくことです。時間がかかるかもしれませんが、粘り強くあってください。時折折れかけ息抜きしてください。今経験している全てが、力になると思います。

市大生活の魅力に迫る ～教えて! 市大生の生活～

市大で学ぶ学生は約2,000人。同じ数だけキャンパスライフの過ごし方があります。学び、課外活動など、充実した学生生活を送る市大生の姿を紹介します。

夢中になれることを見つけて

国際学部国際学科4年 佐々木 善寛

私は1年生のときからトライアスロン部に所属し、就職活動が始まるまで毎日のように練習し、3年生の10月には韓国で行われた世界大会に出場し優勝することができました。
入学当初は、こんなにも部活動に夢中になることを考えもしませんでした。確かに、泳いで、自転車に乗り、最後にはランニングをするという過酷なスポーツではありますが、ゴールしたときの達成感を一度味わうと、またやりたいという気持ちが湧き上がってきます。また、トライアスロンを通じて、競技以外にも部員だけでなく社会人の方々ともつながりができたことは私の貴重な財産です。入学してから、トライアスロン部に出会えたおかげでとても充実した学生生活を送ることができていたと思っています。
私のように部活動であったり、もしくは留学・サークル活動であったり、普段の授業以外にも夢中になれることがたくさん広がっているのが広島市立大学の魅力の一つだと感じています。



大会に出場する佐々木さん



ITUトライアスロンワールドカップ表彰式(表彰台中央が佐々木さん)

多くの出会いが自己の成長に

情報学部情報工学科4年 高橋 優太

なんといっても広島市立大学の魅力は、特色のある3学部から構成され、その学部ごとに違った考えや感性を持ち合わせた人たちがいる、ということではないかと思っています。
情報科学部は、4年生から研究室に配属され、研究室ごとに情報科学の細かい分野の内容を掘り下げていきます。私の配属された論理回路システム研究室では、主にハードウェアとソフトウェアの両面からパソコンを高速化する方法を学んでいます。現在は、夢であったSE(システムエンジニア)の企業に内定をもらい、個性的でとても仲のいい研究室のメンバーと、勉強からプライベートまで親身に相談に乗ってくれる先生方と共に楽しく研究をしています。
勉学以外でも部活動で茶道を学んでおり、心遣いや礼儀作法を学んでいます。部活動は日ごろ交流のない他学部の人たちと出会うことのできる場であり、私にとって非常に大切な時間となっています。また部活動を通して他大学の人もとも交流を深めることもでき、市大と他大学のさまざまな違いを感じることができてとても面白いです。
これからも市大での生活で出会った人たち、そしてその人たちとの交流で知った考えや感性をいつまでも大切にしていきたいと思っています。



茶道部表千家で活動する高橋さん



研究室のメンバーと(左上が高橋さん)

何事もやってみること

芸術学部デザイン工芸学科3年 若狭 秀毅

日々成長している実感を味わっています。
入学当初は知識も経験もなく、何をやるにも初めて知ることや、初めて体験することばかりでした。
立体造形専攻に所属してからというもの、ワークショップを企画実行する難しさやプレッシャーを感じたり、アートシンポジウムで出会った他大学の教授や学生から刺激をもらったりするなど、学内での制作では味わえない経験をすることも増えました。
現在は椅子を制作しています。椅子だけでも無数の素材や形があります。いろいろな視点でアプローチし、素材は何かが良いのか、最適な形はこれで良いのか悩みなが制作しています。
学部で3年間学んできましたが、私が得た知識や経験はまだ浅く、先輩や教授と話していると未熟だと感じると同時に刺激を受けます。現状に満足せず何事も挑戦し、その経験を創作活動へ生かせるよう精進しています。



ワークショップで子供たちの指導をする若狭さん



椅子の1/5モデルを制作する若狭さん

WB.

No.63 west breeze
2014-02



〈表紙作品〉
2013年度 芸術学部美術学科 卒業
筒井 藍
「君の言葉を訳さない」(彫刻)
(H165×W35×D30cm×3体 10kg×3)
2013年度 卒業制作
芸術資料館買上作品

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
http://www.hiroshima-cu.ac.jp

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外の数多くの分野で活躍する「市大人」。その中から、顕著な活動を行っている人を紹介します。

陸上に打ち込んできたことが最大の強み

情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻2年 **もり たいま** **森 大輝さん**

森さんは、第36回中国四国学生陸上選手権大会の1500mの部で3位、第62回佐北駅伝大会で2区区間賞(団体2位)となるなど、優秀な成績を収め2013年度の学生顕彰を受賞しました。また、受賞理由として「講義後の通常練習だけでなく、講義前の早朝練習も個人的に毎日行っており、その努力する姿は文武両道の大学生として模範となっている」ことが挙げられています。今回、本学の学生広報サポーターであり、陸上部の後輩でもある高野優花さん(国際学部国際学科3年)が、インタビューを行いました。同じ陸上部の先輩と後輩という関係ならではの和やかな雰囲気の中、森さん独自の考え方や練習方法について、詳しく話を聴く機会となりました。

一文武両道のコツは何ですか？

「楽しさを見いだすこと」です。陸上なら、自分に足りないものを見つけて改善していくと、前よりも強くなれます。試合の直後に「フォームが悪かった」とわかれば、次の練習ではフォームを整える練習をして、次の試合ではもっと速く走れるということを楽しみます。研究でも、問題点を見つけてそれを修正していくと成果が出られます。今行っている車のエンジン音を抑制する研究では、システムが動作しないときも動作原理の確認やプログラムのミステックをすることで、エンジン音の抑制を可能にしました。陸上も研究も、自分で問題点を見つけ改善していくことで、それが成果となって現れます。僕はそこに楽しさを見いだしています。

広島市立大学のトラックで

一勉強で忙しい中、練習時間はどのように確保していましたか？

計画を立てることによって、効率を高めるようにしていました。その日に何の課題を終わらせるのかを決めたら、それに集中することができるので、だんだん勉強しているよりも早く終わります。早く終わればその分時間が生まれて、陸上に時間を割けます。また、朝の7時から走ったり、部活動の時間外で自主的に走ったりもしました。部活動の時間は16時30分からなので、講義を受けたり研究をしていたりしていると時間に出られないことが多いんです。でも走らないと体力は落ちるので、自分の空いた時間をうまく活用しようと思っていました。たっぷり時間がとれるわけではないですが、短い時間でも集中してやれば、効率よく充実した練習ができました。



森大輝(もり・たいま)

2013年度の学生顕彰を受賞。個人(1500m)種目では、第67回広島県選手権大会(6位)、秩父宮杯第66回西日本学生陸上競技選手権大会(9位)、決勝進出)、第92回広島市陸上選手権大会(優勝)、第36回中国四国学生陸上選手権大会(3位)などにおいて、優秀な成績を収めた。また、団体種目では、第47回錦川清流駅伝大会一般の部で3位、第62回佐北駅伝大会で2位(2区区間賞)などに輝き、メディアでもたびたび取り上げられている。

クラブ紹介

(ダンス部)

ダンス部は案外、真面目!?

国際学部国際学科3年 **このの かな** **河野 薫**

こんにちは! 広島市立大学ダンス部です。私たちダンス部の学内での主な活動は、7月の七夕祭や毎年秋に行われる大学祭でのショーケース発表(ステージ発表)であり、それらのイベントに向けて、日々練習を重ねています。もちろん、その他学外でもたくさんのイベントに出演させていただいています。昨年度は鳥根県美郷町のPR活動の一環として、広島市本通りでフラッシュ Mob(公共の場で突如として行うパフォーマンス)を行いました。今年度は消費生活センターからの依頼を受け、シャレオ中央広場にてダンスのショーケースを披露しました。また、ダンス以外にも、親睦会や夏休みの合宿など楽しい行事もたくさんあります。学部・学年の枠を越えて、みんな仲が良く、楽しい部活です。部員のほとんどがダンス未経験からのスタートでしたが、今ではみんなダンスが大好きです! ダンスと聞くと、少し抵抗のある人もいるかもしれませんが、うちの部員は真面目にダンスと向き合い、それぞれ勉強と両立しながら、密度の濃い充実した大学生活を送っています。



大学祭でのダンスパフォーマンス

一練習ではどのような工夫をしていましたか？

小学5年生から陸上を続けてきて、試合や練習で走ると、自分に何が足りないんだろうとか、どうすればもっと速く走れるんだろうといったことを考える癖ができました。だから今では走ればすぐに改善点が見つかるようになりました。フォームを良くすればいいとわかれば、目を閉じて走る練習をしました。感覚が一つ違われるので、自分の動きを敏感に感じることができます。フォームの細かいところまで気にして走るので、理想のフォームに近づくわけです。もちろんこれは僕独自のやり方なんですけど、みんなとの練習に加えて、自分の欠点を補う練習をしていたことは、僕らしい工夫といえるのかもしれません。

一今後の目標をお聞かせください。

秋の中四国個人インカレ(第37回中国四国学生陸上競技選手権大会)の1500m種目で優勝することです。就職活動をしている期間は忙しくてほとんど走れていなかったのですが、当然体力も落ちています。でも「もっと上にいける気がする。こんなところで止まっているような実力じゃない」とポジティブに考えていれば、この目標もいける気がします。

一後輩へメッセージをお願いします。

勉学も頑張ろう、何かもう一つやり遂げてみてください。それは、いつか必ず自分の強みになるから。

(取材:国際学部国際学科3年 **たかの めい** **高野 優花**)

オーストラリア・ブリスベン

留学体験記

情報科学部医情情報科学科2年 **むらき 優也**

以前から、大学生のうちに1度は海外留学し英語を実践的に学びたいと思っていました。今回補助金が出るということで海外留学に参加しました。

僕はオーストラリアのブリスベンという都市に29日間滞在しましたが、そこではさまざまな経験を積むことができました。

月曜日から金曜日までは授業があり、10〜15人くらいの少人数制の授業だったので、先生には僕の名前を覚えていただけたし、生徒同士もすぐ仲が良く、英語が上手く話せず伝えたいことがなかなか伝わらず、もどかしい気持ちにもなりましたが、仲良くなりたいたいという気持ちと相手をリスペクトする気持ちが互いに強かったので、授業中も放課後も楽しく過ごせました。

3人部屋の寮に滞在したのですが、ルームメイトは皆外国の方でした。しかしそれは関係なく一緒に夕食を作ったり、街を観光したりして出身国は違っても心から友達だと思う友達ができると分かって感動しました。

留学する前は、英語を流暢に話せないのに海外で生活し文化の違う外国の方と仲良くなれるのかと少なからず不安はありましたが、仲良くなりたいたいという意思があり積極的になれば日本人だと外国人だとか関係なく仲良くなれるのだということを今回の留学で学びました。今回

の留学である程度自分の語学力などについて自信が持った反面、もっと英語を勉強して円滑に会話を楽しみたいという向上心を持つことができました。

また、国際学部・情報科学部・芸術学部という3学部の学生がいるので、友達が広がります。他学部の友達から学ぶこともたくさんあり、さまざまな価値観も持つことができます。ぜひ市大の寮生の一員になりましょう!!

語学学校のクラスメートと(左端が木村さん)

学生レポート

この記事は、「キャンパスリポーター」または「学生広報サポーター」に登録している市大人自らが取材をして記事を作成しています。

私たち学生にできること

～広島からSmileを～

国際学部国際学科3年 **むらき 理紗**

「平和ってなに? 私たち学生になにができるだろう?」広島市立大学平和活動クラブS2(エスツー)には、このような疑問と熱い思いを持った1年生から3年生の学生30名が所属しており、今年で創設5年目を迎える。S2とはSmile×Smileの略称で、たかさんの笑顔をつくり、広げることがグループの第一歩になるのではないかという思いが込められている。S2は「国内組」「TFT」「紛争」「ユニチル」「World Café」「CAPS」という6つのグループで構成されている。

中でも「TFT」は、今年度、広島市立大学の学生食堂にTFT(※)プログラムの導入を果たした。これは、参加団体において、指定されたヘルシ志向のメニュー「TFTメニュー」を購入すると売り

上げの一部が開発途上国の子どもたちに寄付される仕組みである。「TFT」代表でS2副部長を務める国際学部3年の菅田眺美さんは「TFTは誰でも気軽に参加できる国際貢献のひとつ。このメニューをきっかけに、私たち学生にできることがあると感じてほしい。」と語る。

「国内組」は毎年8月6日に広島平和記念公園と広島平和記念資料館の案内を行っているが、今年は「Peace Café」と称し、案内に加えて、参加者同士が平和に対する意見や思いを伝え合う機会も提供するなど、S2は学生の視点から平和のかたまりを提案しようとしている。若者の平和に対する意識の低下が懸念される日本。しかし、この広島で平和と向き合い、これからの平和について考え行動している学生がいることは、確実に「未来」へつながっていくだろう。

(※)TFTは、Table For Two(2人の食卓)の略称で、開発途上国と先進国における食の不均衡を解消し、同時に双方の健康改善を目指す日本初の社会事業。S2の「TFT」グループはその活動に取り組んでいる。



広島市立大学の学生食堂で購入可能なTFTメニューの一例

キャリアセンターへようこそ

キャリアセンター長 **井上 智生**
(副理事[入学試験・就職担当]、情報科学研究科教授)

社会が期待する人材は時代とともに変化しています。最近では特に、専門分野での知識や能力が高く、社会人としての基本的な力が求められ、それを備えられた人が多く評価されるようになっています。そのような時代の変化と社会のニーズに応えるために、そしてこれまでの学生に対する就職・キャリア形成支援をさらに強化するために、広島市立大学では本年4月にキャリアセンターを設置しました。

キャリアセンターでは、学生自らがキャリア(「働くこと」を踏まえた生き方)について考え行動できるように、インターンシップや就職関連情報の提供、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐して、個別相談、模擬面接やエントリーシートの添削など、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧な支援をしています。「就職支援パートナーシップ制度」を通じて全国各地の10大学と連携した支援も行っています。

さらにセンターでは、全学共通系科目「キャリアデザイン(2年次)」、「キャリアサポートベーシック(3年次)」を開講しています。自分を見つめ直し、将来働くことと生きることを考え、いま学生としてやるべきこと、身に付けるべきことをイメージしながら、専門分野の学習に取り組みようとしています。

キャリアセンターはこれからも、広島市立大学の学生が自信を持って卒業・修了し、そして社会で活躍できるよう、大学生活全般を通じて学生のキャリア形成を支援していきます。

学生の声

情報科学部システム工学科4年 **たなか まさのり** **佐高 正規**

就活(就職活動)をする上で、キャリアセンターは非常に役に立ちました。キャリアセンターでは、さまざまな情報入手することができますし、就活に対する悩みも相談することで解消され、自分自身の成長につなげることができました。エントリーシートへの添削では、複数の職員の方が見てくださり、時間をかけてアドバイスをいただきました。また、気持ちの面でもサポートをしていただきました。就活で分からないことが出てきたときに相談に行くと、的確に答えを出してくださりスッキリしましたし、最終面接前などの落ち着かないときも気持ちが楽になりました。就活には、キャリアセンターの活用が欠かせないと思います。



キャリアアドバイザーに相談する佐高さん(右)

おめでとうござます

■情報科学研究科の学生が「データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム」で受賞
2014年3月、情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻3年の石野亜耶さんが「学生プレゼンテーション賞」を受賞。

■情報科学研究科宮崎准教授が「光と画像領域での新たな挑戦」で受賞
2014年3月、情報科学研究科宮崎大輔准教授が「コニカミノルタ画像科学奨励賞」を受賞。

■情報科学研究科言語音声メディア工学研究室のグループが「All Analytics Championship Powered by SAS ～データサイエンス・アドベンチャー杯～」で入賞
2014年3月、情報科学研究科知能工学専攻言語音声メディア工学研究室のグループが入賞。

■芸術学部の教員らが「第69回春の院展」で受賞
2014年3月、芸術学部の蘆谷実教授、前田力准教授、および山浦めぐみ助教が「奨励賞」を受賞。また、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻2年の浅基水貴さんおよび本学卒業生らも多数入選。

■芸術学研究科の学生が「第40回記念東京春季企画展」で入選
2014年3月、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻2年の太田絵里さんが入選。また、本学の教員や卒業生も多数入選、出品。

■芸術学部の協力研究員が「第6回“H”ADC審査会」で受賞
2014年3月、本学芸術学部協力研究員のナターリア・ガリャーシさんが「全員審査賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「Dynamics and Design Conference 2013 / 第12回「運動と振動の制御」シンポジウム」で受賞
2014年3月、情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻2年の岩瀬大佑さんが「日本機械学会若手優秀講演フェロ賞」を受賞。

■情報科学部の学生が「電子情報通信学会マルチメディア・仮想環境基礎研究会(MVE研究会)」で受賞
2014年3月、情報科学部知能工学科4年の土居洋子さんが「MVE賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「電子情報通信学会ネットワークソフトウェア研究会」で受賞
2014年4月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻2年の太尾洋さんが「ネットワークソフトウェア研究奨励賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「平成25年度(第64回)電気・情報関連学会中国支部連合大会」で受賞
2014年5月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻2年の小田敬子さんが「情報処理学会中国支部奨励賞」を受賞。

■情報科学研究科の学生が「ICDMA2014」で受賞
2014年5月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻1年の酒井達弘さんが「最優秀学生論文賞」を受賞。

■情報科学研究科の教員が「ICAIA2014」で受賞
2014年5月、情報科学研究科田村慶一准教授と北上始教授が「最優秀論文賞」を受賞。

■情報科学研究科の教員・学生が「ICCS2014」で受賞
2014年5月、情報科学研究科内田智之准教授と情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2年の佐野紀元さんが「最優秀論文賞」を受賞。

■情報科学研究科の教員が「ICIC2014」で受賞
2014年6月、情報科学研究科串田淳一助教が「最優秀論文賞」を受賞。

※学年は受賞当時

市大ニュース

■入学式を挙行了しました
2014年4月2日(水)、本学講堂大ホールで入学式を挙行了しました。式には学生、教職員、保護者等約900名が出席しました。

■いちたい知のトライアスロンのコメント大賞表彰式を開催
2014年4月、附属図書館で平成25年度コメント大賞の表彰式を行いました。コメント大賞を受賞した国際学部3年(受賞当時)の来田卓哉さんをはじめ、受賞者へは前田附属図書館長から表彰状と副賞(図書カード)が授与されました。

■市大人430人が「ごみゼロ・クリーンウォーク」に参加
2014年6月、広島市市中心部で「ごみゼロ・クリーンウォーク」が実施されました。本学からの参加者は年々増加しており、今年では430人の学生が、おそろいの大学オリジナルTシャツを着て、街に落ちているタバコの吸い殻、空き缶、ペットボトルなどを熱心に拾って歩きました。

■浅田前理事長・学長から記念碑が寄贈されました
2014年6月、浅田尚紀前理事長・学長からの学長記念碑寄贈式を行いました。なお、学長記念碑(黒御影石製ベンチ)は、前川芸術学部長によって制作され、本学講堂大ホール前に設置されています。

■開学20周年記念式典・記念講演・祝賀会を開催しました
2014年6月14日(土)に開学20周年記念式典・記念講演・祝賀会を開催しました。式典には広島市長、広島市議会議員をはじめ、これまで本学を支えてくださった多くの方々にご出席いただきました。

■画像投稿サイトの表彰作品を決定しました
2014年6月、画像投稿サイト「第3回表彰式」を行いました。情報科学部情報工学科(2014年3月卒業)の古本裕己さんが最優秀賞、情報科学研究科の石光俊介教授、芸術学部デザイン工芸学専攻2年の住岡祥さん、情報科学研究科の西正博准教授が優秀賞を受賞しました。

最優秀賞「もうすぐおわり」

■ライブキャンパス2014開催
10月13日(月・祝)に、「ライブキャンパス2014」を開催します。広島市立大学の授業ってどんな授業だろうと思っている高校生および保護者を主な対象として、通常授業を体験してもらいます。お問い合わせ先:広島市立大学事務局企画室入試グループ(電話:082-830-1503 E-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp)

この本 ～教員の著書紹介～

情報科学研究科 井上博之 准教授
[ステップ方式で仕組みを学ぶIPネットワーク設計演習]
2010年9月、ナノブ・ニコスエナジー出版局

国際学部 金泰旭 教授
[地域ファミリー企業におけるビジネスシステムの形成と発展]
金泰旭編著、2014年6月、白桃書房

情報科学研究科 北上始 教授
[ビッグデータ時代におけるゲノミクス情報処理]
北上始、斎藤成也、太田聡史
2014年10月、コロナ社

2014年度 学年暦

| 後期(10月1日～3月31日) | | |
|-------------------|-----------------------|--|
| 10月1日(水) | 後期授業開始 | |
| 10月1日(水)～14日(火) | 後期履修手続期間 | |
| 10月13日(月・体育の日) | 月曜日の授業実施・ライブキャンパス2014 | |
| 11月1日(土)・2日(日) | 大規模の授業 | |
| 12月1日(月) | 防火・防災訓練の日 | |
| 12月24日(水)～1月4日(日) | 冬季休業 | |
| 1月16日(金) | センター試験準備のための授業休講 | |
| 1月21日(水)～22日(木) | 後期補講日 | |
| 1月27日(火)～1月30日(金) | 後期定期試験 | |
| 2月3日(火)～2月16日(月) | 学年末休業 | |
| 2月17日(火)～3月31日(火) | 卒業式 | |
| 3月23日(月) | 卒業式 | |

「W.B.」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画・広報委員会
○E-mail:kikaku@office.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656
[W.B.(WEST BREEZE)]のバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌[WEST BREEZE]」に掲載しています。

広報誌名

広島市立大学広報誌の表紙タイトル[W.B.](「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。

編集・発行 / 広島市立大学 企画・広報委員会
発行日 / 2014年8月1日